ご参考資料

2026 年 11 月 13 日

大　東　銀　行

2027 年 3 月期第 2 四半期の業績について

＜概　要＞

2027 年 3 月期第 2 四半期の業績は、連結ベースで経常収益 97 億 95 百万円(前年同期比＋29.7%)、経常利益 16 億円(同＋14.5%)、親会社株主に帰属する中間純利益 11 億 77 百万円(同＋21.6%)と**前年同期比増収増益**の決算となりました。

経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金などの増加に伴う資金運用収益の増加や、株式等売却益の計上に伴うその他経常収益の増加などから、前年同期比 22 億 42 百万円増加して 97 億 95 百万円となりました。

経常費用は、預金利息等の増加に伴う資金調達費用の増加や、国債等債券売却損の計上に伴うその他業務費用の増加などから、前年同期比 20 億 40 百万円増加して 81 億 94 百万円となりました。

これらの結果、経常利益は前年同期比 2 億 2 百万円増加して 16 億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比 2 億 8 百万円増加して 11 億 77 百万円となりました。

【貸出金残高 7,210 億円　前期末比＋209 億円（単体)】

貸出金残高(末残)は、地公体向け及び個人向け貸出を中心に残高が増加したことから、前期末比 209 億円増加して 7,210 億円となり、過去最高を更新しました。

【総預金＋預り資産残高 9,931 億円　前期末比＋217 億円（単体)】

総預金＋預り資産残高は、総預金及び預り資産がいずれも増加したことから、前期末比 217 億円増加して 9,931 億円となりました。

【連結自己資本比率】

連結自己資本比率は、前期末比 0.05 ポイント上昇して 11.07%となり、依然高い健全性を維持しております。

【通期見通し・配当予想】

2027 年 3 月期通期の業績予想は、2026 年 5 月 15 日公表の計数に変更ありません。

なお、配当金は 40 円の期末配当を予定しております。

◇　損益の状況

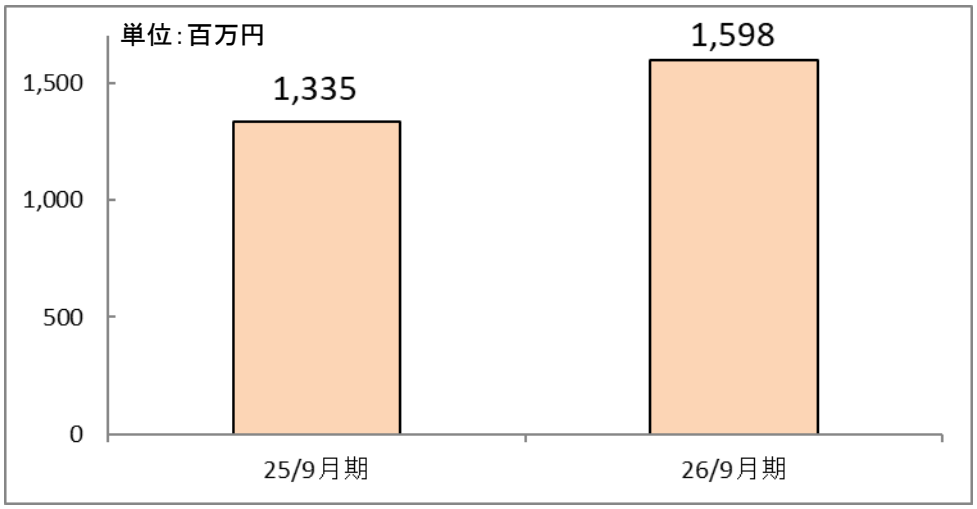
（連結）　　（単位：百万円）

	2026 年 9 月期 実績	前年同期実績	前年同期比	
			額	率
経　常　収　益	9,795	7,553	＋2,242	＋29.7%
経　常　利　益	1,600	1,398	＋202	＋14.5%
親会社株主に帰属する中間純利益	1,177	968	＋208	＋21.6%

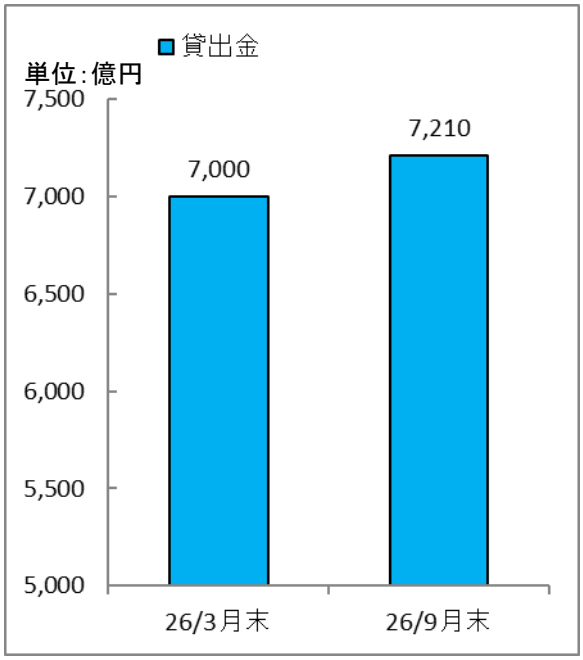
（単体）　　（単位：百万円）

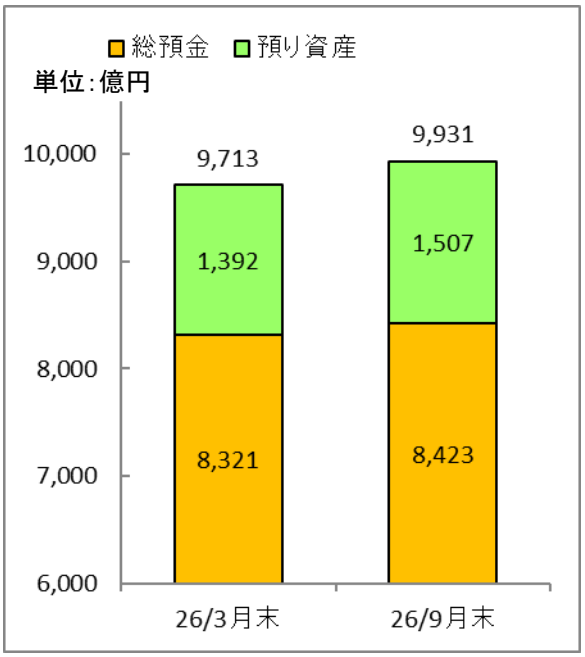
	2026年9月期 実績	前年同期実績	前年同期比	
			額	率
経常収益	9,125	6,912	＋2,212	＋32.0%
実質業務純益	375	955	△580	△60.8%
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	1,598	1,335	＋263	＋19.7%
経常利益	1,564	1,364	＋199	＋14.6%
中間純利益	1,130	949	＋181	＋19.1%

◇　コア業務純益（除く投資信託解約損益）



◇　貸出金、総預金＋預り資産残高（単体）





以上